

白河市認知症高齢者等見守り QR コード事業

認知症高齢者等が行方不明になった際の支援の充実を図るため、衣服等に貼ることができる「見守り QR コードシール」を交付し、行方不明者の早期発見と身元照会、ご家族への迅速な連絡をおこないます。

無料

対象となる方

市内に住所を有する65歳以上の高齢者等で認知症やその他の疾患により出かけて戻ることができない恐れのある方。

利用料金

登録後、最初にお送りする QR コードシール1シート（36枚）は無料です。ただし、追加で QR コードシールを希望する場合は、利用者負担（1シート 1,100円）となります。

利用の手続きについて

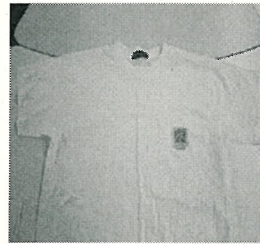
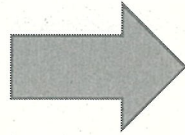
認知症の方を介護するご家族等が、あらかじめ利用申請を行います。申請書の提出は市役所、各庁舎で受付いたします。

ご不明な点は市役所、地域包括支援センターまたは、担当ケアマネジャーにご相談ください。





見守り QR コードシールはご本人が普段身に付ける衣服や杖等に貼り付けます。QR コードを携帯電話等で読み取ることにより、早期に身元が確認できます。



見守り QR コードシールを貼っている方を見かけたら、次のポイントに気をつけてお声かけをお願いします。

1. まずは見守る

認知症と思われる人に気付いたら、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守りましょう。近づきすぎたり、ジロジロ見たりするのは禁物です。

2. 余裕をもって対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手にも伝わって動揺させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう。

3. 声をかけるときは1人で

複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ1人で声をかけましょう。

4. 後ろから声をかけない

認知症の方に限らず、高齢者の方は視野が狭くなるといわれています。急に声をかけるのは禁物です。一定の距離で相手の視野に入ったところで声をかけましょう。「何かお困りですか」「お手伝いしましょうか」「どうなさいました?」「こちらでゆっくりどうぞ」など。

5. 相手に視線を合わせて優しい口調で

相手が小柄な方の場合には、体を低くして視線を同じ高さにして対応しましょう。

6. おだやかに、はっきりした話し方で

高齢者は耳が聞こえにくい人が多いので、ゆっくりとはっきりした話し方を心がけましょう。早口、大声、甲高い声でまくしたてないこと。その土地の方言でコミュニケーションをとることも大切です。

7. 相手の言葉に耳を傾けて、その人の言葉を使ってゆっくり対応する

認知症の方は急かされるのが苦手です。同時に複数の問いに答えることも苦手です。相手の反応をうかがいながら会話をしましょう。たどたどしい言葉でも、相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測・確認していきます。

お問い合わせ先: 白河市役所高齢福祉課高齢者支援係
電話 0248-28-5519